

第五次滋賀県廃棄物処理計画策定の方向性について

1 計画の方向性

- ・ 滋賀らしさ
例えば、琵琶湖、三方よし、工業県など
- ・ ポジティブさ
多様な主体の協力を得て、前向きな行動を促せるような計画

2 計画の重点項目（案）

国基本方針や県環境総合計画を踏まえ、審議会や市町等の意見を聴きながら策定するものであるが、以下の項目を重点項目として盛り込む。

①プラスチックごみ

- ・ 第四次計画では、「プラスチックごみ」の記載がない。（「容器包装廃棄物」の記載あり。）
- ・ 海洋プラスチックごみなど、世界的な課題でもあり、国で「プラスチック資源循環戦略」が策定された。
- ・ 3R やカーボンニュートラルであるバイオマスプラスチックの代替使用などによる地球温暖化防止への貢献
- ・ 琵琶湖でのマイクロプラスチックの検出情報
- ・ 令和元年8月に『滋賀県買い物ごみ・食品ロス削減推進協議会』と県との連名で「滋賀プラスチックごみゼロ・食品ロス削減宣言」を行った。宣言に基づき、今後3Rや適正処理の更なる徹底を図り、県民や事業者等の各主体による実践取組を促進することを目的に、「(仮称) 滋賀プラスチックごみゼロ実践取組方針」を策定。（令和2年度内に策定予定）

②食品ロス

- ・ 第四次計画には記載あり。
- ・ 「食品ロス削減推進法」施行による機運の高まり。
- ・ 「(仮称) 滋賀県食品ロス削減推進計画」の策定。（令和2年度内に策定予定）

③災害廃棄物

- ・ 第四次計画に記載あり。
- ・ 近年、気温の上昇、大雨の頻度の増加など、気候変動およびその影響が全国各地で現れており、災害の発生を前提とした平時の準備・対策が必要不可欠。
- ・ 本県は H29 策定済みであるが、県内市町の災害廃棄物処理計画の策定率は、42.1% (R1) に留まっており、早期の計画策定が求められる。

3 その他

新型コロナウイルスに係る今後の社会への影響と第五次計画への反映（目標値の設定や施策の方向性等）については如何に扱うか。